

経営比較分析表（令和4年度決算）

福島県 桑折町

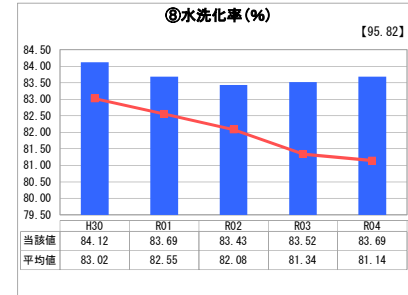
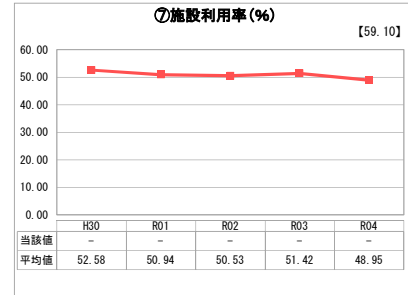
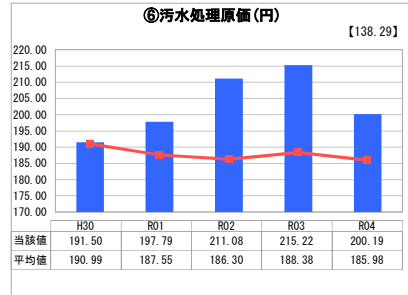
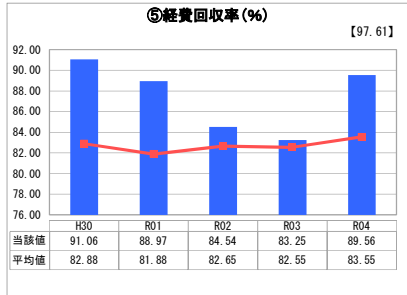
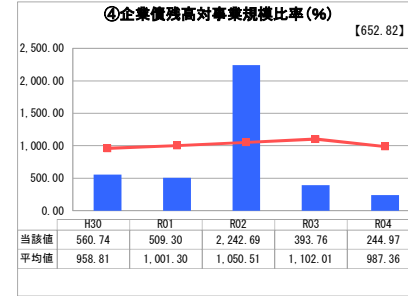
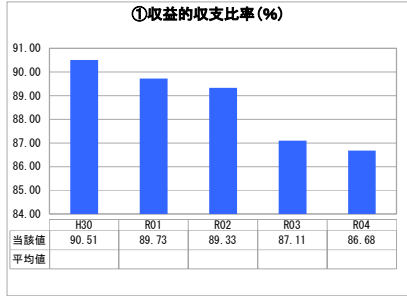
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	49.10	100.00	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,229	42.97	261.32
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,463	1.63	3,351.53

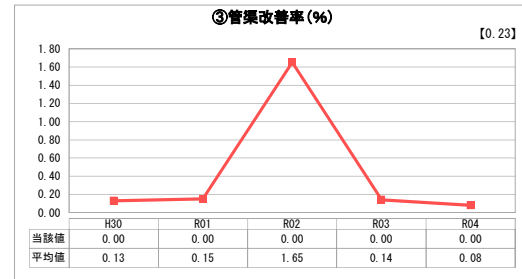
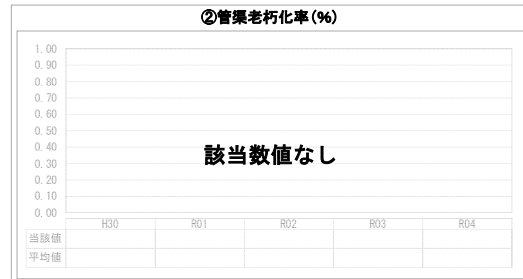
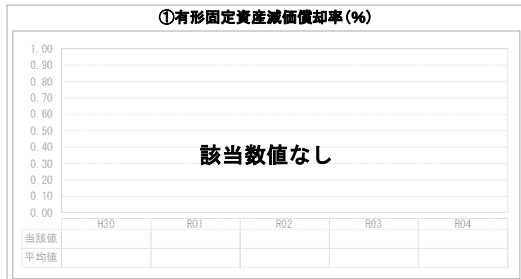
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町における下水道事業は、事業認可区域全域の整備が完了したことにより、主に下水道使用料と繰出基準に基づく一般会計からの繰入金金を財源として経営しているところです。

【健全性】

①収益的収支比率は、年々減少傾向にあります。今後は指標向上を目指し、経営改善に向けた取り組みを行っていく必要があります。
④企業債残高対事業規模比率は、流域下水道の災害復旧事業による企業債発行で令和2年度が高い比率となりましたが、今後とも計画的な企業債の発行に努める必要があります。

【効率性】

⑤⑥経費回収率および汚水処理原価は、類似団体平均値を上回っています。引き続き接続率向上に取組み、使用料収入の確保に努める必要があります。
⑧水洗化率は、類似団体平均値を上回っていますが、積ばいの状況が続いています。下水道接続へのより一層の普及促進活動を行い、率向上に向けた取組みを行っていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

当町の下水道事業は、昭和63年に事業に着手し、平成8年4月から部分的に供用が開始され、段階的に事業を拡大してきました。供用開始から25年程度であり、管渠の更新時はまだ到来していませんが、平成28年度に策定した「桑折町ストックマネジメント計画」に基づき、引き続き維持管理に取り組んでいきます。

全体総括

事業認可区域全域の整備が終了したことにより、今後は下水道接続率の向上に努めていかなければなりません。また、事業の運営方針である「下水道事業経営戦略」に基づき、限られた資産や財源をより有効に活用しながら、経営の合理化や効率化を推進し、経営基盤の強化に努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均値を表示していません。